

第1回標準的電子カルテ推進委員会

議 事 次 第

平成15年8月7日(木)

13:30 ~ 15:00

厚生労働省5階 共用第7会議室

1. 開会
2. 大臣官房審議官挨拶
3. 委員紹介
4. 議 事
 - (1) 電子カルテにおける「標準化」のさまざまなレベル
 - (2) 標準的電子カルテに関する研究について
 - (3) 標準的電子カルテに対する産業界の取組について
 - (4) 標準的電子カルテに対するユーザーの期待について
5. その他 今後の進め方、日程調整等
6. 閉会

資料1 標準的電子カルテ推進委員会の設置について

資料2 電子カルテにおける「標準化」のさまざまなレベル

資料3 標準的電子カルテ関連研究班一覧

標準的電子カルテ推進委員会の設置について

1. 背景・趣旨

医療の向上、業務効率化等を目指して、全国各地の医療機関において情報システムの導入が図られている。こうした中で、「保健医療分野における情報化にむけてのグランドデザイン」（平成13年12月公表）において数値目標の定められている電子カルテについても取組が徐々に進んではいるものの、導入医療機関は、全体としてみると未だ少数にとどまっている。

今後における電子カルテの普及・定着を図っていくためには、用語・コードの標準化、情報交換規約の標準化などの基盤整備や、医療界、情報産業界におけるこれまでの取組をさらに深めていくことが必要であるが、これに加えて、電子カルテが継時的・段階的に円滑に発展していくための枠組みや基盤について、その機能、基本要件等に立ち返って、今日的な視点から再検討することも重要と考えられる。

本委員会では医療情報化の今日までの到達点を踏まえ、さらなる医療情報化推進のための諸課題について、特に電子カルテの向上・普及を念頭に置きながら具体的な解決方策を検討するとともに、平成15年度から開始された標準的電子カルテの開発に係る研究事業の進捗状況や成果を踏まえつつ、標準的電子カルテに求められる機能、基本要件、運用のあり方等について検討し、委員会としての考え方の取りまとめを目指すこととする。

2. 委員会の位置付け

医政局長の私的検討会

3. 開催回数

平成15年度中に2～3回の開催予定

電子カルテにおける『標準化』のさまざまなレベル

○ 記述に用いる用語・コードの標準化

- ・ 治療成績の集計、レセプト処理等をコンピュータ上で行うためには、病名と1対1に対応するコード番号が必要。
- ・ メーカー、病院ごとに任意に決めるのではなく、全国一律の用語・コード体系が必要。

(用語・コードの標準化の現状)

- ・ 医療の情報化推進のために、その最も重要な基盤である医療用語・コード等の標準化については、平成15年度末までに完成する。

完成している用語・コード

「病名」
「手術・処置名」
「臨床検査」
「医薬品」
「医療材料」

現在作成中のもの

「症状・診察所見」
「生理機能検査名・所見」
「画像検査名・所見」
「看護用語・行為」
「歯科領域」

○ 情報交換規格（電子情報の読み書きのための規格）の標準化

- ・ 文書、画像、データベース等を作成したソフトウェアと、それを読み出すソフトウェアが違って、支障なく情報を読み出すためには、電子情報を読み書きするための規格を統一することが必要。
- ・ そうでないと、例えばある病院でA社のシステムで作成した電子的なX線画像を、転送先の別の病院でB社のシステムで見ようとしても見られない。

(情報交換規格の標準化の現状)

- ・ 産業界を中心に情報交換規約の標準化の策定が進んでおり、医療情報交換の互換性確保のため今後5年間は下記の規約を標準装備とした製品を普及推進する
- ・ 「医療機関で電子的に情報交換する際の標準的な規格」の方向性として下記の標準実装を目指す。
 1. HL7 Ver.2.4以降およびHL7 Ver.3(XML形式)
 2. DICOM規格
- ・ IHE-Jとして、電子カルテシステムにおける標準規格(HL7, DICOMなど)利用のガイドラインづくりがユーザー、ベンダーの連携のもとに進められている。画像検査部門を中心としたガイドラインを平成14年度末に完了し、その成果を全部門へ拡張できるように検討を進める。(※注 IHE-J: Integrating the Healthcare Enterprise: 日本における医療連携のための情報統合化プロジェクト)

○ 標準的電子カルテの開発

(「部品化」＋「標準化」＝「モジュール化」)

- ・ 電子カルテは、様々な機能をもつソフトウェア群の集合体である。
たとえば、受診受付管理、症状・所見記録、検査・処置・処方の実施依頼・参照（血液検査、画像検査、薬の処方、薬の調剤記録）、医事会計等々
- ・ それぞれの機能に対応するソフトウェア（部品、コンポーネント）が、その病院の電子カルテシステム全体の中でどのように相互連動しながら働くかは、各メーカーで異なるため、
 - ◇ 一部の部品だけを別のメーカーのものにすることが不可能
 - ◇ 一部の部品の機能拡充を図るためにはソフトウェア群全体に修正を加えなくてはならず大きな追加コストが必要といったことが生じている。

(標準的電子カルテの開発の現状)

- ・ 電子カルテが最低限備えるべき機能について、平成15年2月日本医療情報学会の提言が「電子カルテの定義に関する日本医療情報学会の見解」として公表された。
- ・ それぞれの医療機関に装備されている電子カルテは、基本的に個々のベンダーにより開発されており、明確に標準化されたものは今のところない。

平成15年度 厚生労働科学研究 標準的電子カルテ関連研究班一覽

| 研究者 氏名 | 所 属 | 研 究 課 題 名 |
|---|------------------------------------|---|
| 大江 和彦 | 東京大学医学部附属病院企画情報運営部 教授 | 標準的電子カルテに要求される基本機能の情報モデルの開発 |
| 木村 通男 | 浜松医科大学医学部附属病院医療情報部 教授 | 標準的電子カルテのための施設間診療情報交換に関する研究 |
| 高田 彰 | 熊本大学医学部附属病院医療情報経営企画部 助教授 | 標準的電子カルテシステムのアーキテクチャ（フレームワーク）に関する研究 |
| 廣瀬 康行 | 琉球大学医学部附属病院 教授 | 病名変遷と病名一診療行為連関を実現する電子カルテ開発モデルに関する研究 |
| 飯田 修平 | (社) 全日本病院協会 | 電子カルテ導入における標準的な業務フローモデルに関する研究 |
| 澤田 康文 | 九州大学大学院薬学研究院 教授 | 電子カルテのための処方設計支援システムの基礎技術の研究とコンポーネントの開発 |
| 井上 通敏 | 日本医療情報学会 会長 | 高度総合診療施設における電子カルテの実用化と評価に関する研究 |
| 坂本 憲広 | 神戸大学医学部附属病院医療情報部 教授 | 電子カルテの相互運用に向けたHL7メッセージの開発および管理・流通手法に関する研究 |
| 阿曾沼元博 | 国際医療福祉大学国際医療福祉総合研究所 教授 | 電子カルテシステムが医療及び医療機関に与える効果及び影響に関する研究 |
| 長谷川友紀 | 東邦大学医学部公衆衛生学 助教授 | 諸外国における医療情報の標準化の動向に関する研究 |
| 山本 隆一 | 東京大学大学院情報学環助教授 | 保健医療福祉分野における個人情報保護の取り扱いに関する研究 |
| 田中 博 | 東京医科歯科大学難病疾患研究所 教授 | 先進的IT技術の医療への応用と評価 |
| 辰巳 治之 | 札幌医科大学医学部教授 | 医療・保健分野におけるインターネット利用の信頼性確保に関する調査研究 |
| 木内 貴弘 | 東京大学医学部附属病院医療情報ネットワーク研究センター 助教授 | 電子カルテネットワーク等の相互接続法の標準化 |
| 三原 一郎 | 医療法人三原皮膚科 院長 | 電子診療録の医療連携への応用と推進における問題点の検討 |
| 大山 永昭 | 東京工業大学フロンティア創造共同研究センター 教授 | 保健医療福祉分野における住基カードを用いた個人・組織・資格認証の在り方に関する研究 |
| 坂本 憲広 | 神戸大学医学部附属病院医療情報部 教授 | 保健医療分野における電子署名の実用化に関する研究 |
| 里村 洋一 | 千葉大学医学部附属病院医療情報部 教授 | 保険証認証のためのデータ交換基準に関する研究 |
| 標準的電子カルテ推進コア・チーム 11班 (その他 情報ネットワーク 4班 認証セキュリティ3班) | | |

標準的電子カルテ関連研究研究報告会 の開催スケジュール

第1回 平成15年7月9日(水)

平成15年度研究計画報告会(全18研究)

研究報告会の模様は、NPO法人メディカル・バンクよりインターネットによる映像配信を行っております。

「医療情報・映像配信サイト Medics TV」

<http://www.medical-bank.org/medicstv/>

第2回 平成15年9月3日(水)を予定

情報ネットワーク、認証セキュリティに関する研究を発表

○大山 永昭(東京工業大学フロンティア創造共同センター教授)

「保健医療福祉分野における住基カードを用いた個人・組織・資格認証の在り方に関する研究」

○木内 貴弘(東京大学医学部附属病院医療情報ネットワーク研究センター助教授)

「電子カルテネットワーク等の相互接続法の標準化」

○坂本 憲広(神戸大学医学部附属病院医療情報部 教授)

「保健医療分野における電子署名の実用化に関する研究」

○里村 洋一(千葉大学医学部附属病院医療情報部 教授)

「保険証認証のためのデータ交換基準に関する研究」

○辰巳 治之(札幌医科大学医学部教授)

「医療・保健分野におけるインターネット利用の信頼性確保に関する調査研究」

○田中 博(東京医科歯科大学難病疾患研究所教授)

「先進的IT技術の医療への応用と評価」

○三原 一郎(医療法人三原皮膚科院長)

「電子診療録の医療連携への応用と推進における問題点の検討」

第3回 平成15年11月を予定

標準的電子カルテに関する研究を「日本医療情報学会」と共同で開催

第4回 平成16年3月を予定

平成15年度の総括報告会